

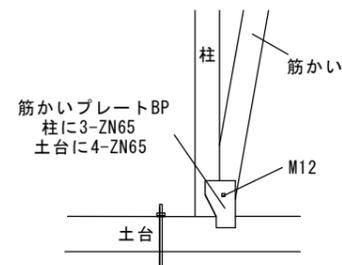
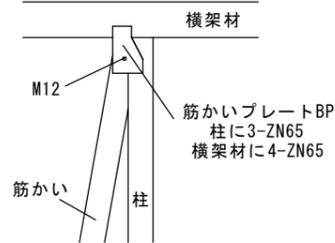
構造標準仕様書 - 2

6. 木工事

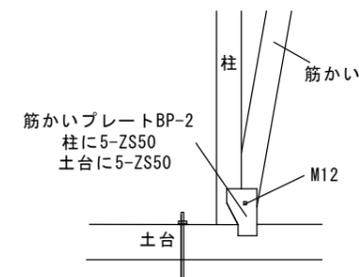
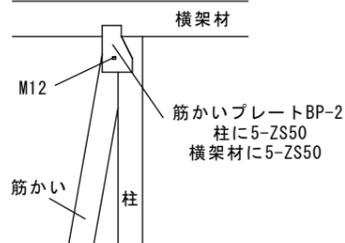
(1) 鉛直構面 (耐力壁等)

a. 筋かい

厚さ30mm以上で幅90mm以上の木製筋違い



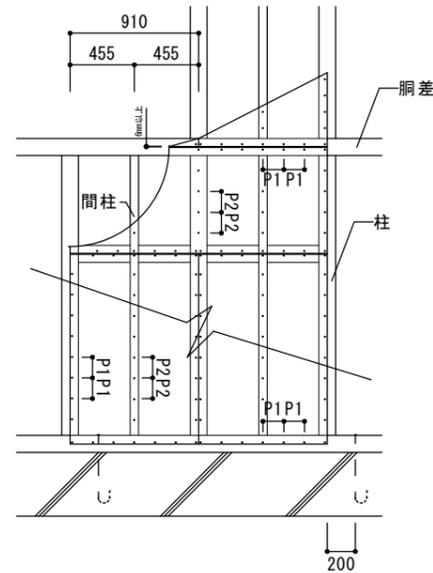
厚さ45mm以上で幅90mm以上の木製筋違い



筋かいの壁倍率

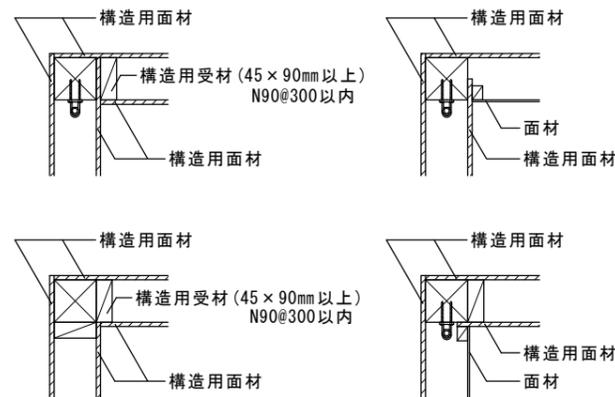
筋かいの種類	片筋かい			両筋かい
	基準	圧縮	引張	
□鉄筋φ9以上	-	0	2.0	(2.0)
□木材15×90mm以上	1.0	1.0	1.0	2.0
□木材30×90mm以上	1.5	2.0	1.0	3.0
■木材45×90mm以上	2.0	2.5	1.5	4.0
□木材90×90mm以上	3.0	5.0	1.0	5.0
□				

b. 大壁構造用面材

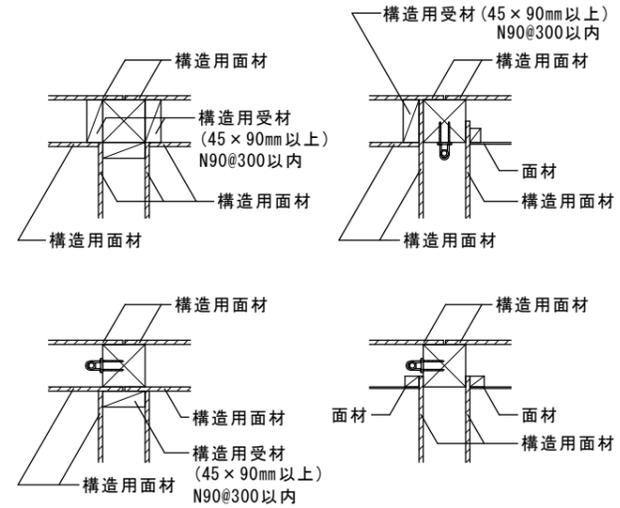


面材の種類	最低厚さ	釘種類	P1	P2	壁倍率
■構造用合板	7.5mm	N50	150mm	150mm	2.5
□パネイクレ-ド・構造用パネル	12mm	N50	150mm	150mm	2.5
□ハードボード	5mm	N50	150mm	150mm	2.0
□硬質木片セメント板	12mm	N50	150mm	150mm	2.0
□構造用石こうボードA種	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	150mm	1.7
□構造用石こうボードB種	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	150mm	1.2
□石こうボード	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	150mm	0.9
□ラスシート (角波垂鉛鉄板) (メタルラス)	0.4mm 0.6mm	N38	150mm	150mm	1.0
□シーリングボード	12mm	SN40	100mm	200mm	1.0

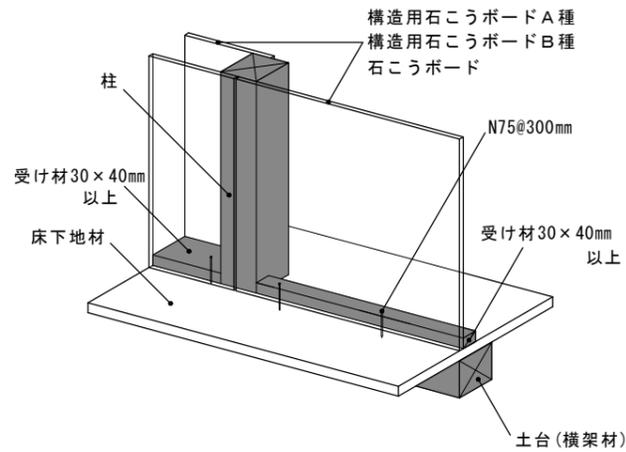
構造用面材の隅部の取合い



構造用面材のT字部の取合い

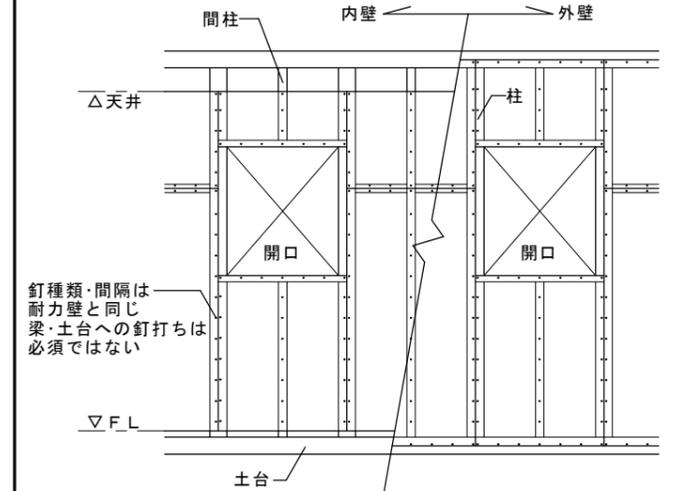


床面材勝ち石こうボード耐力壁の納まり

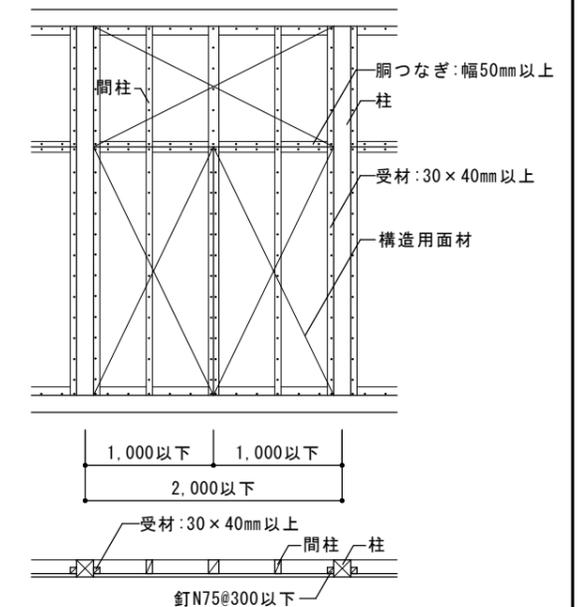


面材の種類	最低厚さ	釘種類	P1	P2	壁倍率
□構造用石こうボードA種	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	150mm	1.6
□構造用石こうボードB種	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	150mm	1.0
■石こうボード	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	150mm	0.9

準耐力壁等



c. 真壁構造用面材



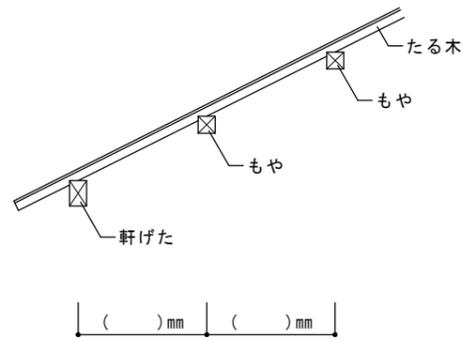
面材の種類	最低厚さ	釘種類	釘間隔	壁倍率	特記事項
■構造用合板	7.5mm	N50	150mm	2.5	
□パネイクレ-ド・構造用パネル	12mm	N50	150mm	2.5	
□石こうラスボード	9mm	GNF32またはGNC32	150mm	1.5	
□構造用石こうボードA種	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	1.5	
□構造用石こうボードB種	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	1.3	
□石こうボード	12mm	GNF40またはGNC40	150mm	1.0	

構造標準仕様書 - 3

(2) 水平構面 (屋根・床等)

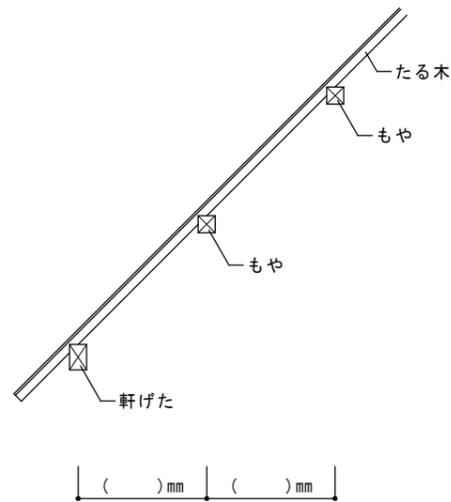
a. 屋根面の納まり

■ 勾配30°以下の納まり



水平構面の仕様	許容せん断耐力 kN/m
■ 構造用合板 12mm、N50@150mm、たる木@455mm	1.37
■ 構造用合板 12mm、N50@150mm、たる木@455mm (+転び止め)	1.96
□ 幅180板材 9mm、N50@150mm、たる木@455mm	0.39

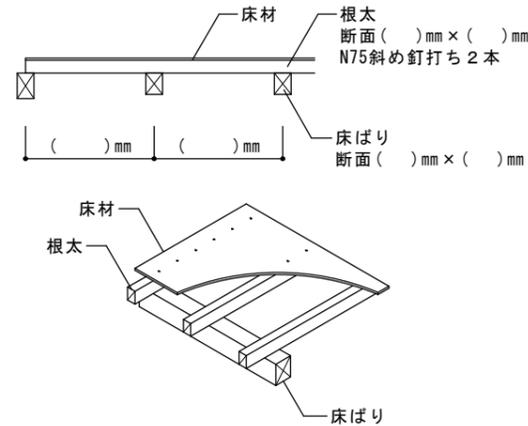
□ 勾配45°以下の納まり



水平構面の仕様	許容せん断耐力 kN/m
□ 構造用合板 9mm、N50@150mm、たる木@500	0.98
□ 幅180板材 9mm、N50@150mm、たる木@500	0.20

b. 床組の納まり

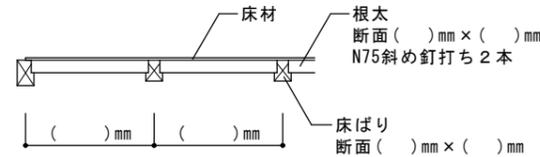
□ 根太あり・転ばしの取合い



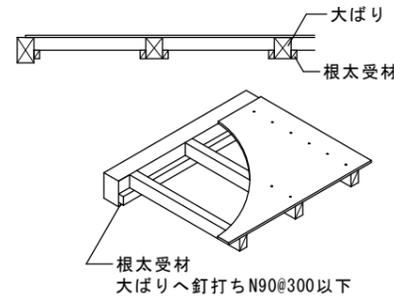
水平構面の仕様	許容せん断耐力 kN/m
□ 構造用合板 12mm、N50@150mm、根太@340mm	1.96
□ 構造用合板 12mm、N50@150mm、根太@500mm	1.37
□ 幅180板材 12mm、N50@150mm、根太@340mm	0.59
□ 幅180板材 12mm、N50@150mm、根太@500mm	0.39

□ 根太あり・落し込みの取合い

□ 床ばりに落とし込む方法



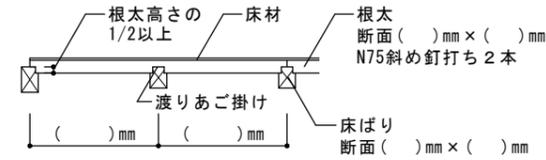
□ 根太受材で固定する方法



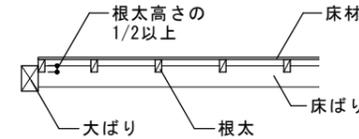
水平構面の仕様	許容せん断耐力 kN/m
□ 構造用合板 12mm、N50@150mm、根太@340mm	3.92
□ 構造用合板 12mm、N50@150mm、根太@500mm	2.74
□ 幅180板材 12mm、N50@150mm、根太@340mm	0.76
□ 幅180板材 12mm、N50@150mm、根太@500mm	0.51

□ 根太あり・根太半欠きの取合い

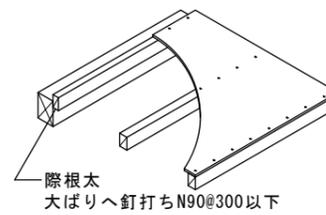
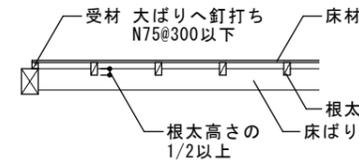
□ 床ばりに落とし込む方法



□ 際根太で固定する方法



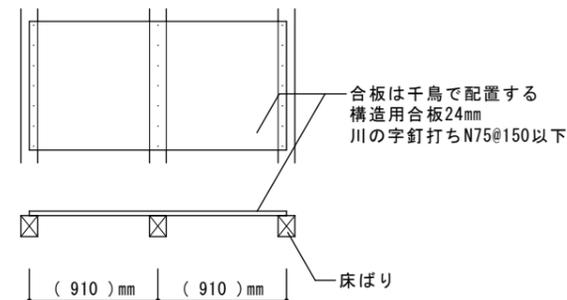
□ 受材で固定する方法



水平構面の仕様	許容せん断耐力 kN/m
□ 構造用合板 12mm、N50@150mm、根太@340mm	3.14
□ 構造用合板 12mm、N50@150mm、根太@500mm	2.20
□ 幅180板材 12mm、N50@150mm、根太@340mm	0.71
□ 幅180板材 12mm、N50@150mm、根太@500mm	0.47

■ 根太なし・直張り・川の字釘打ちの取合い

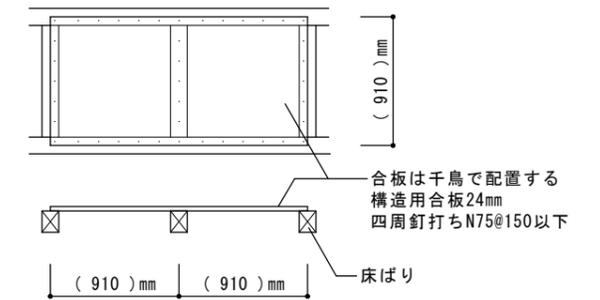
(許容せん断耐力 3.53kN/m)



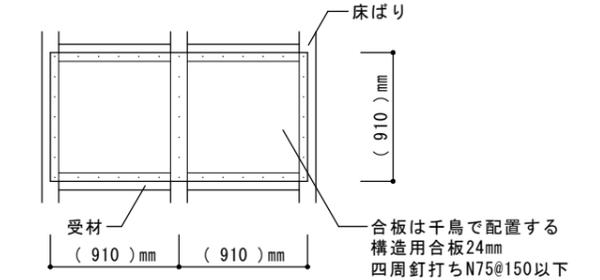
□ 根太なし・直張り・四周釘打ちの取合い

(許容せん断耐力 7.84kN/m)

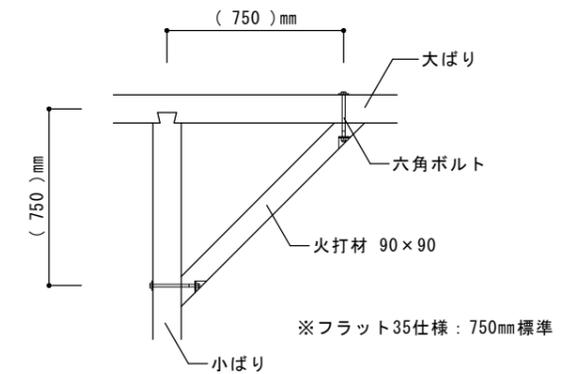
□ 合板の長辺を床ばりに固定する方法



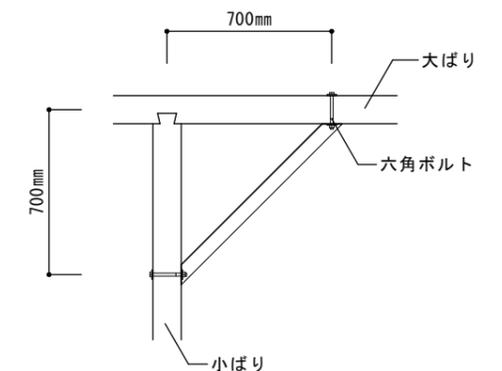
□ 合板の短辺を床ばりに固定する方法



■ 木製火打ちの取合い

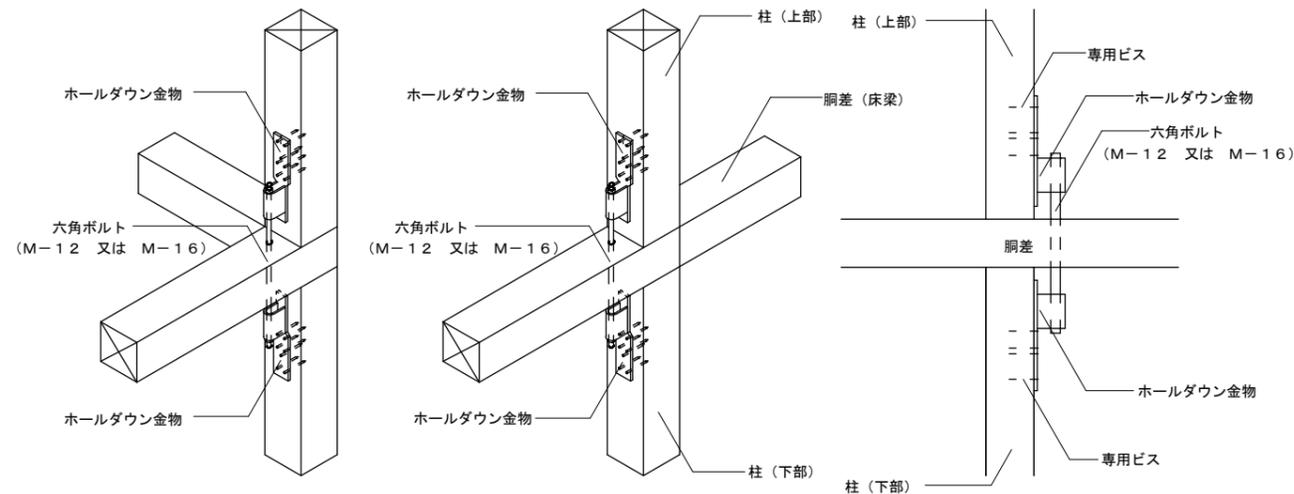


□ 火打金物 (Zマーク) の取合い

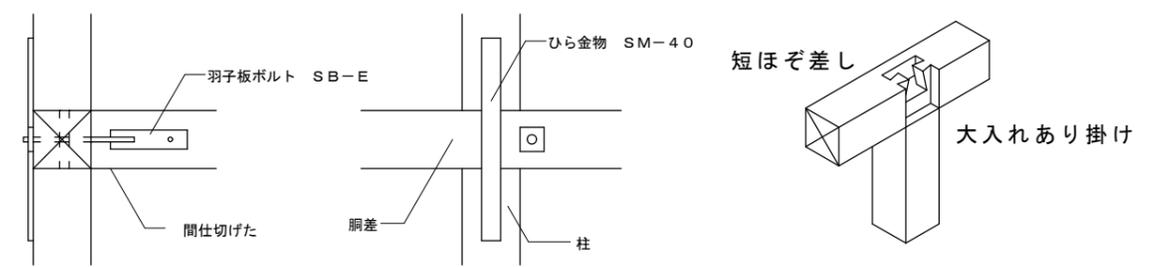


構造標準仕様書 - 4

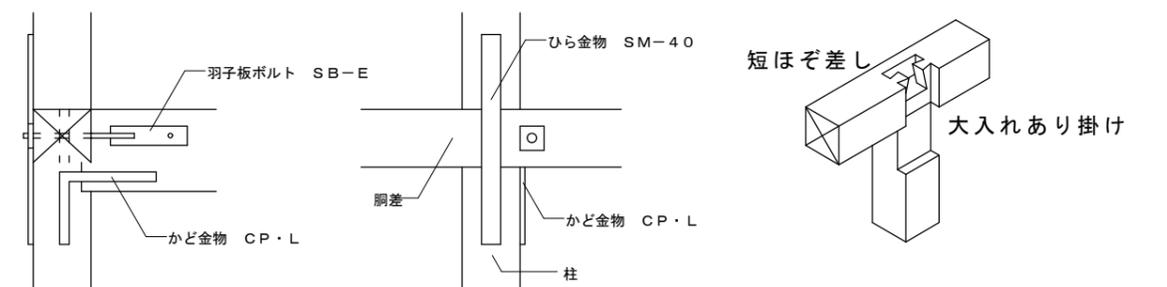
通し柱に代わる管柱の補強



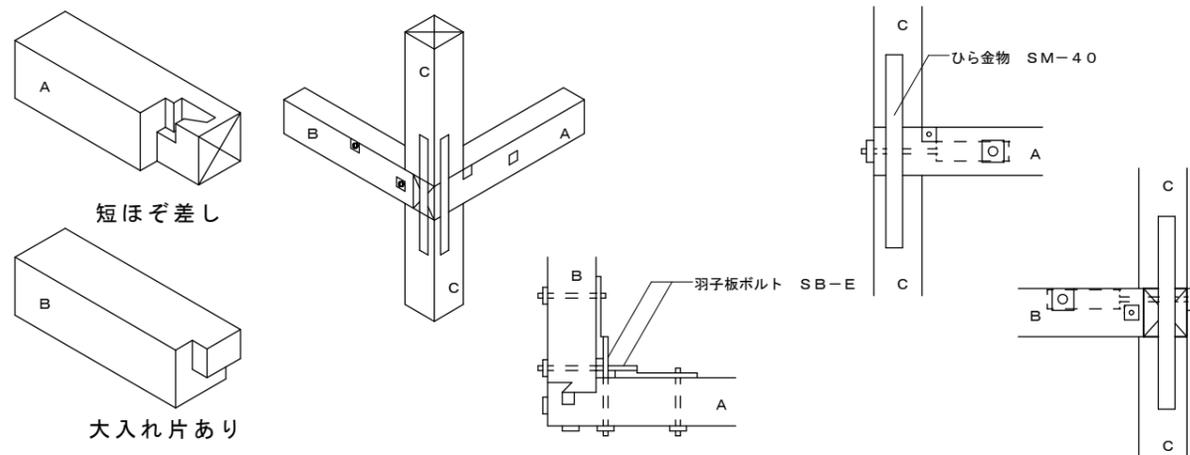
すみ柱に準ずる柱 (胴差と同寸程度の間仕切桁が胴差と直交して取合う場合)



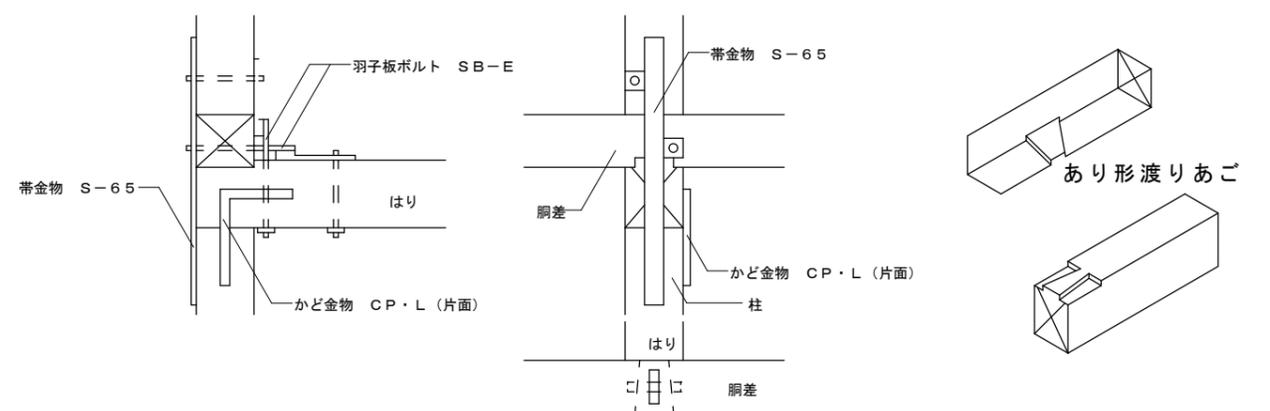
すみ柱に準ずる柱 (胴差と直交する床ばりに上端が揃う場合)



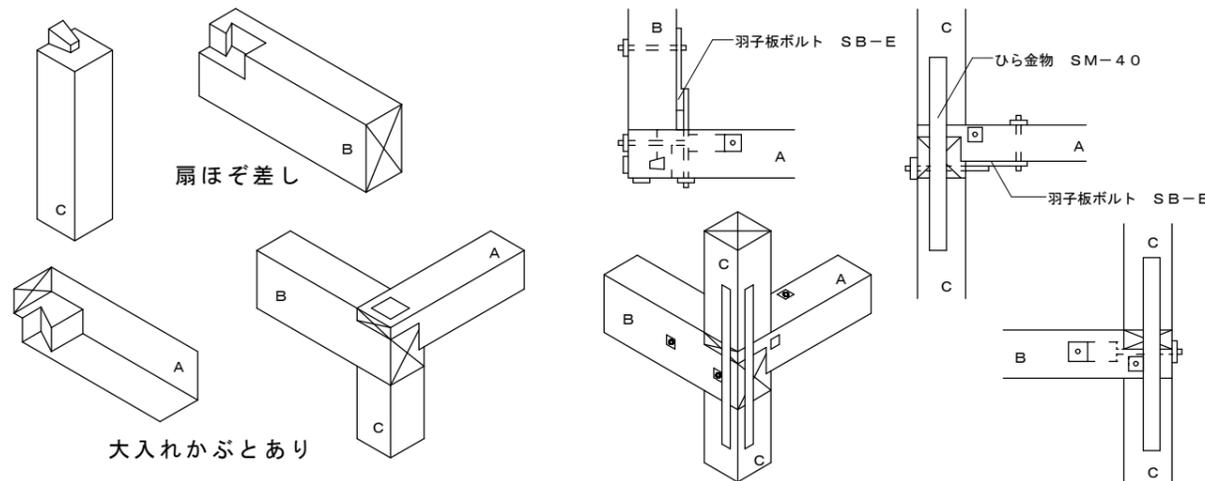
すみ柱 (直交する胴差がほぼ同寸でかつ同一高さで取合う場合)



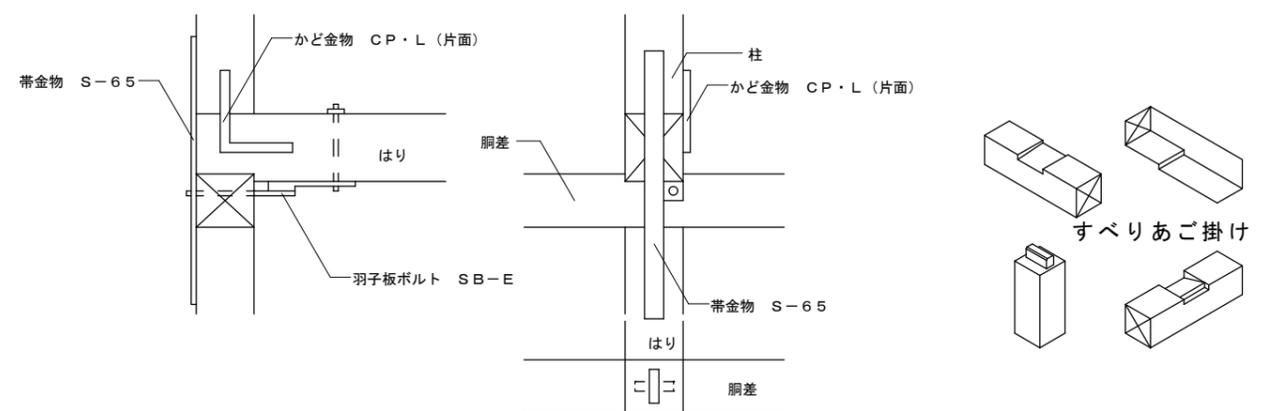
すみ柱に準ずる柱 (胴差と直交する床ばりが胴差の下側にある場合)



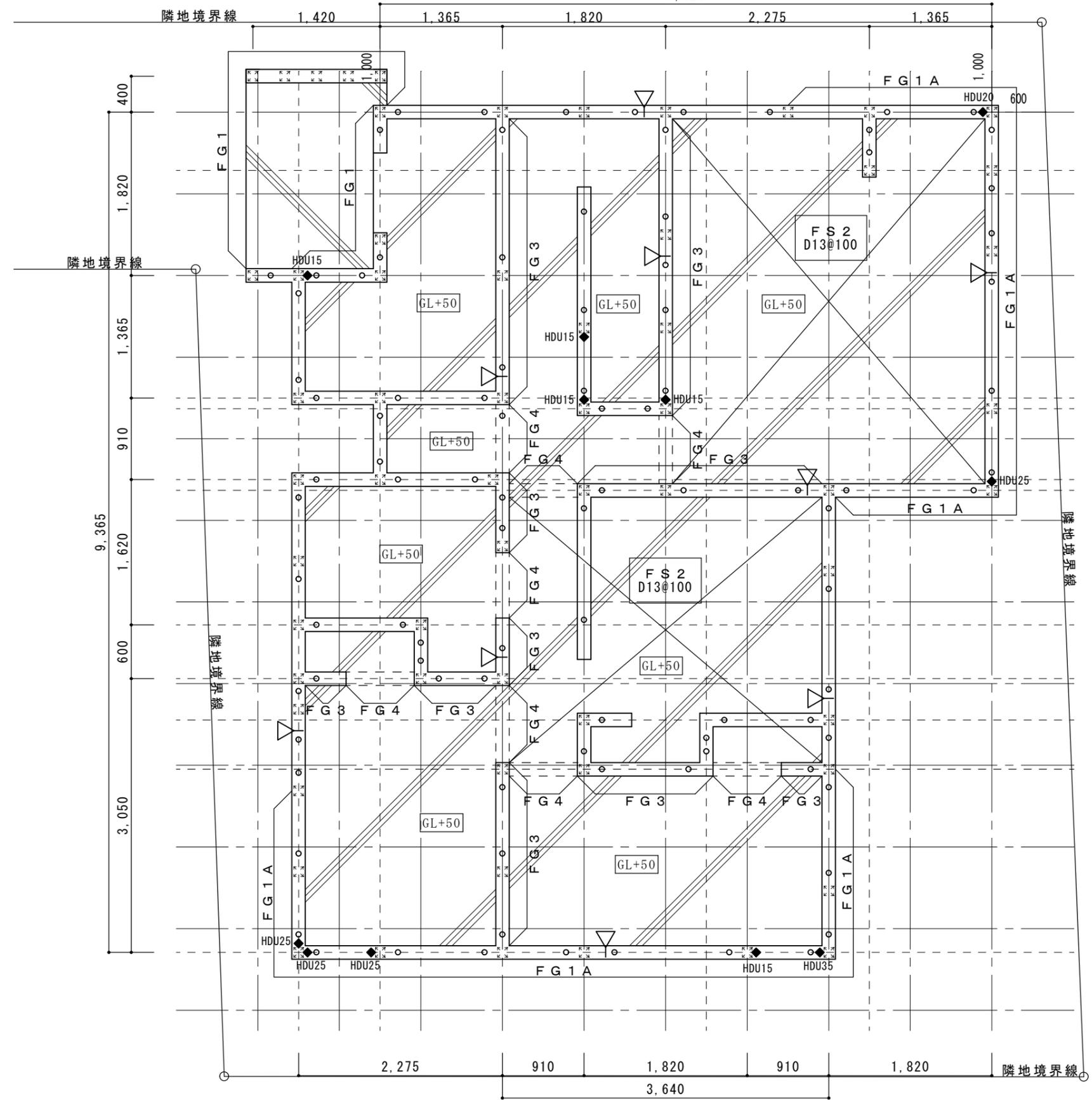
すみ柱 (直交する胴差の成が異なり段違いに取合う場合)



すみ柱に準ずる柱 (胴差と直交する床ばりが胴差の上側にある場合)



ぬ り ち と へ ほ に は ろ い



基礎伏図 S = 1:50

アンカーボルト@2,000以下、隅角部両方向端部、耐力壁両側柱の脇
(土台継ぎ手両端には設置すること)

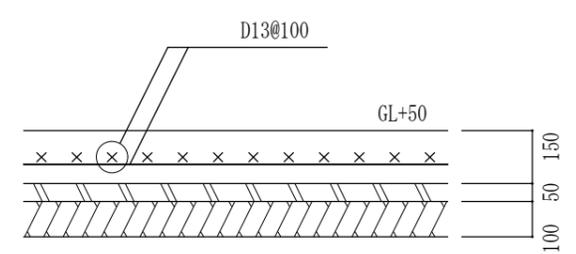
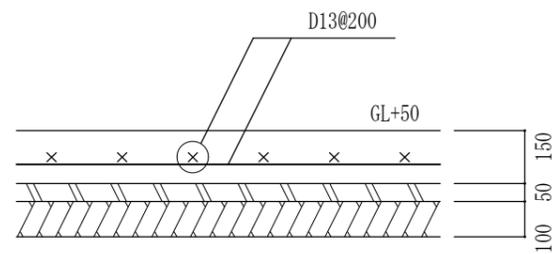
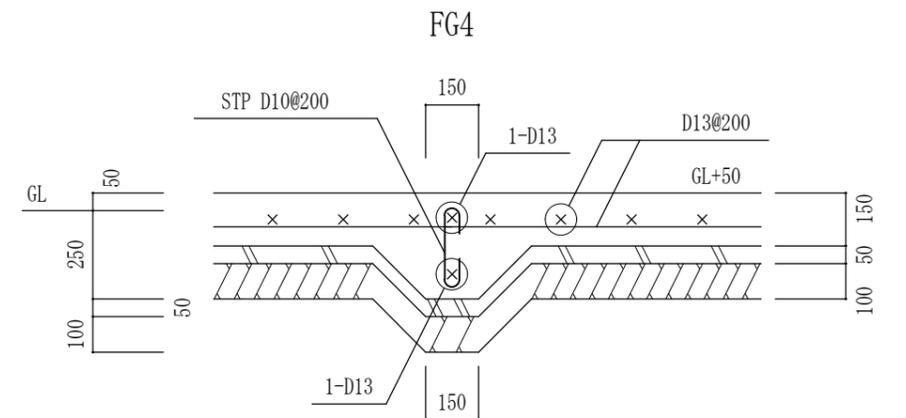
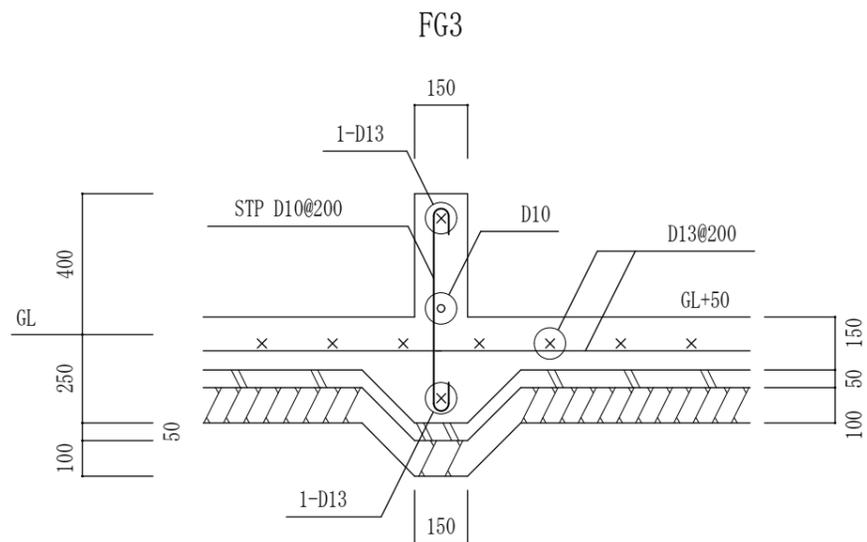
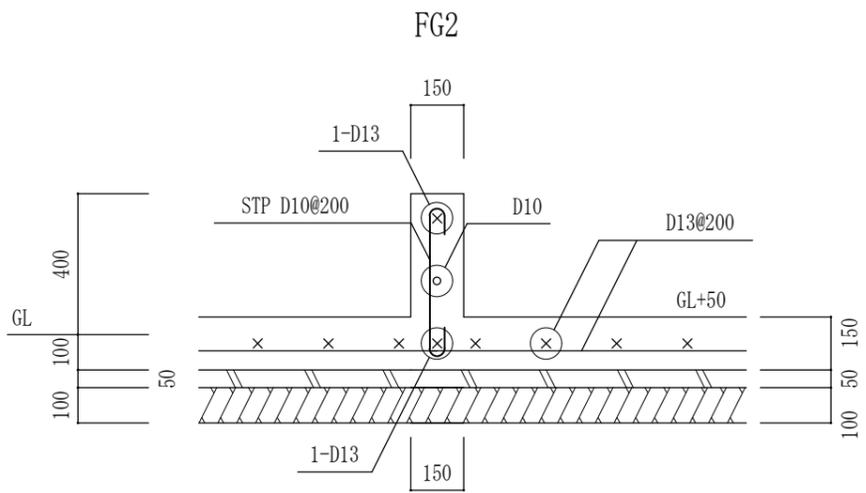
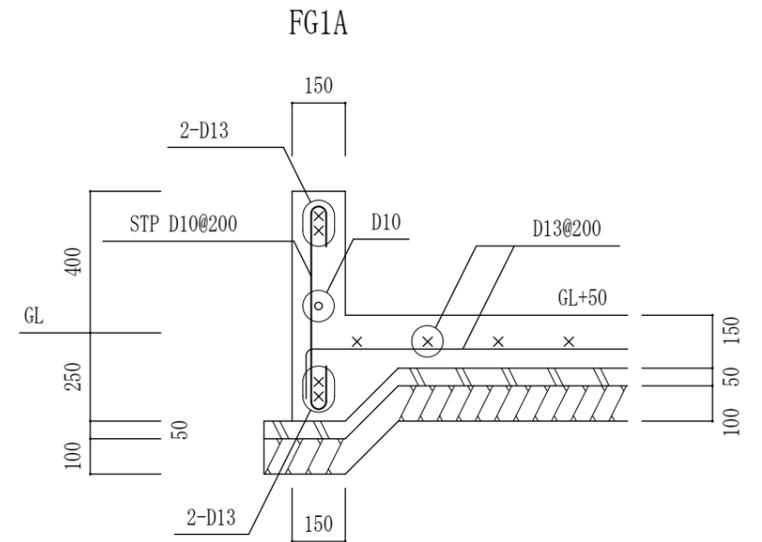
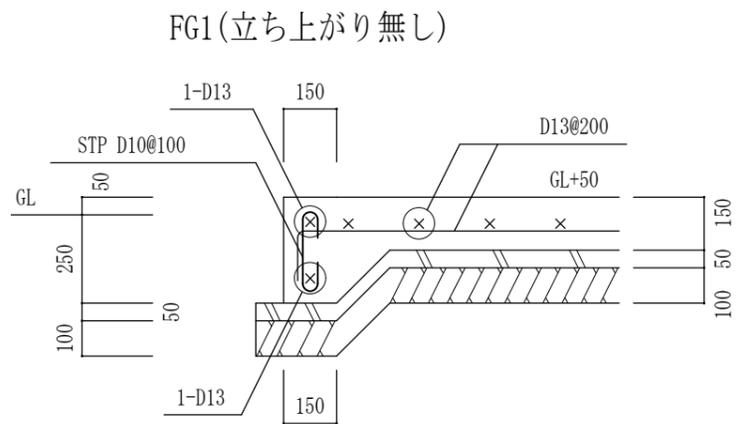
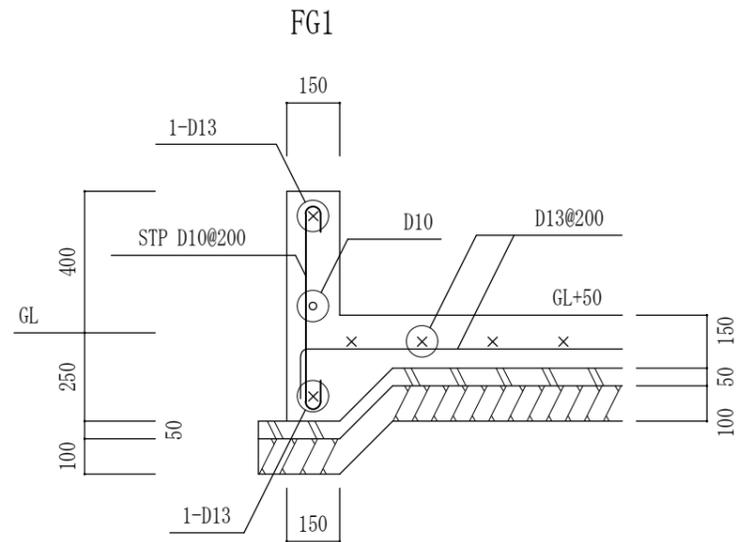
- アンカーボルト： M-12 (アンカー基礎直埋め)
 - ◆ ホールドダウン用アンカーボルト： M-16以上
(1階柱脚ホールドダウンボルトは全てRC立ち上がり部分に埋め込みのこと。)
- 外構等：コンクリート土間の範囲、高さ等は図中省略：意匠図、施工図優先

基礎型式：ベタ基礎
 ・地盤の長期許容支持力： $f_e = 20 \text{ kN/m}^2$
 ・根切り底：設計GL-0.25m

コンクリート
 基礎・基礎梁 $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
 鉄筋
 SD295A : D10以上D16以下

特記なき限り下記による
 基礎梁は 外周部 FG 1
 内部 FG 2

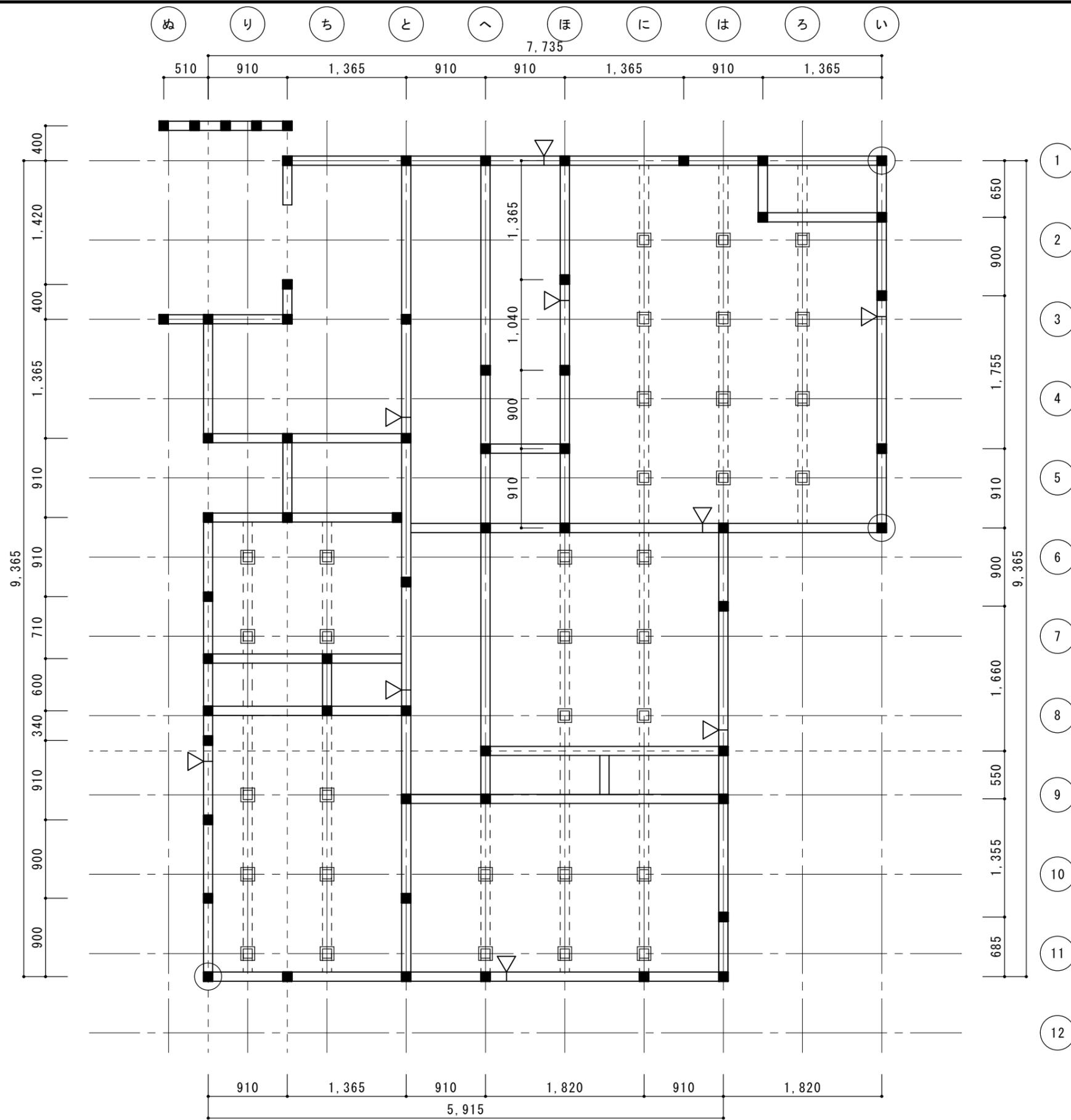
承認	検図	設計	製図	縮尺	名称	図名	図番
				1/50	邸 新築工事	基礎伏図	S-5



FS1

FS2

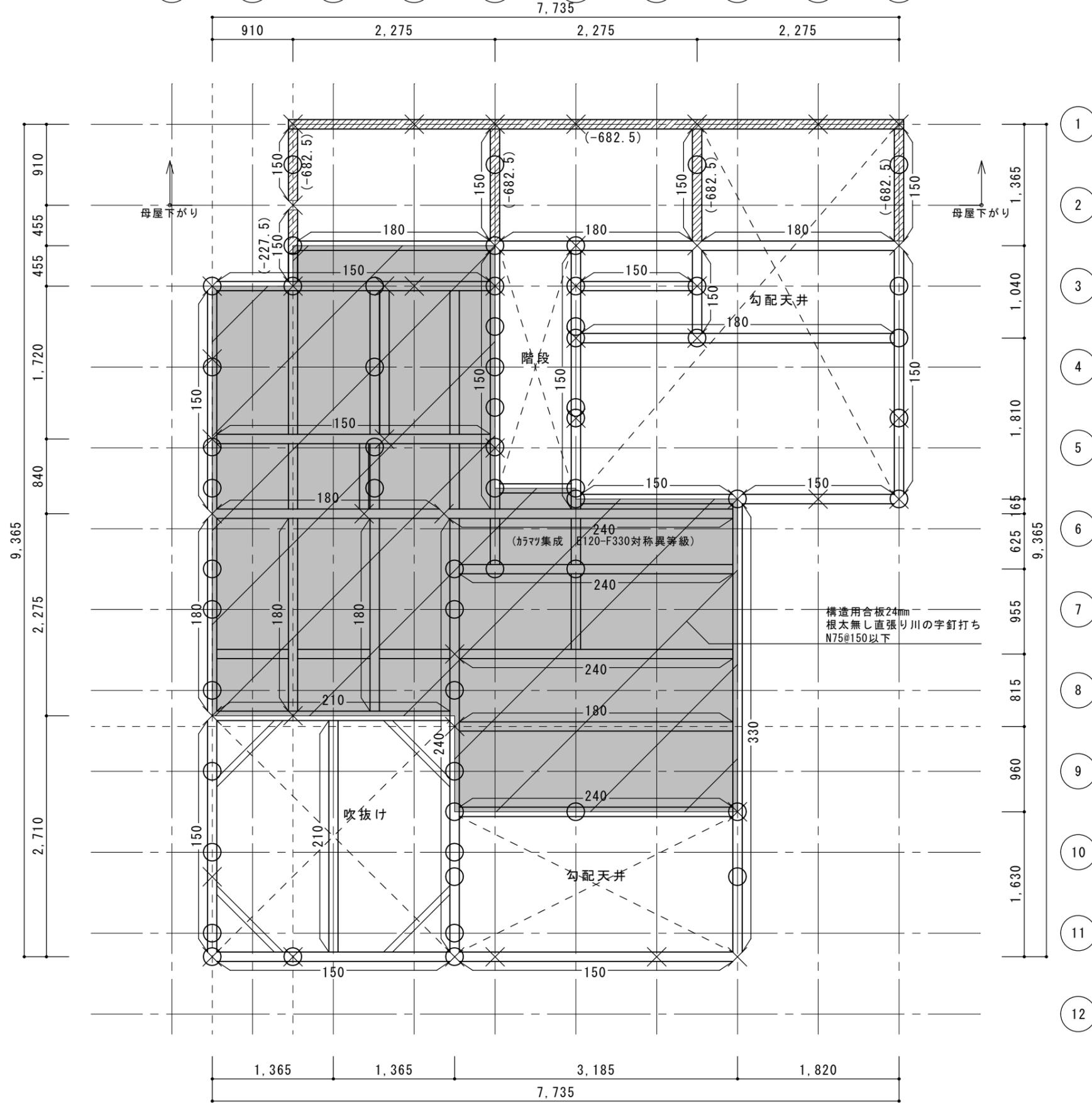
		承認	検図	設計	製図	縮尺 1/20	名称 邸 新築工事	図名 基礎断面図	図番 S-6
--	--	----	----	----	----	------------	--------------	-------------	-----------



凡例 特記なき限り下記とする。

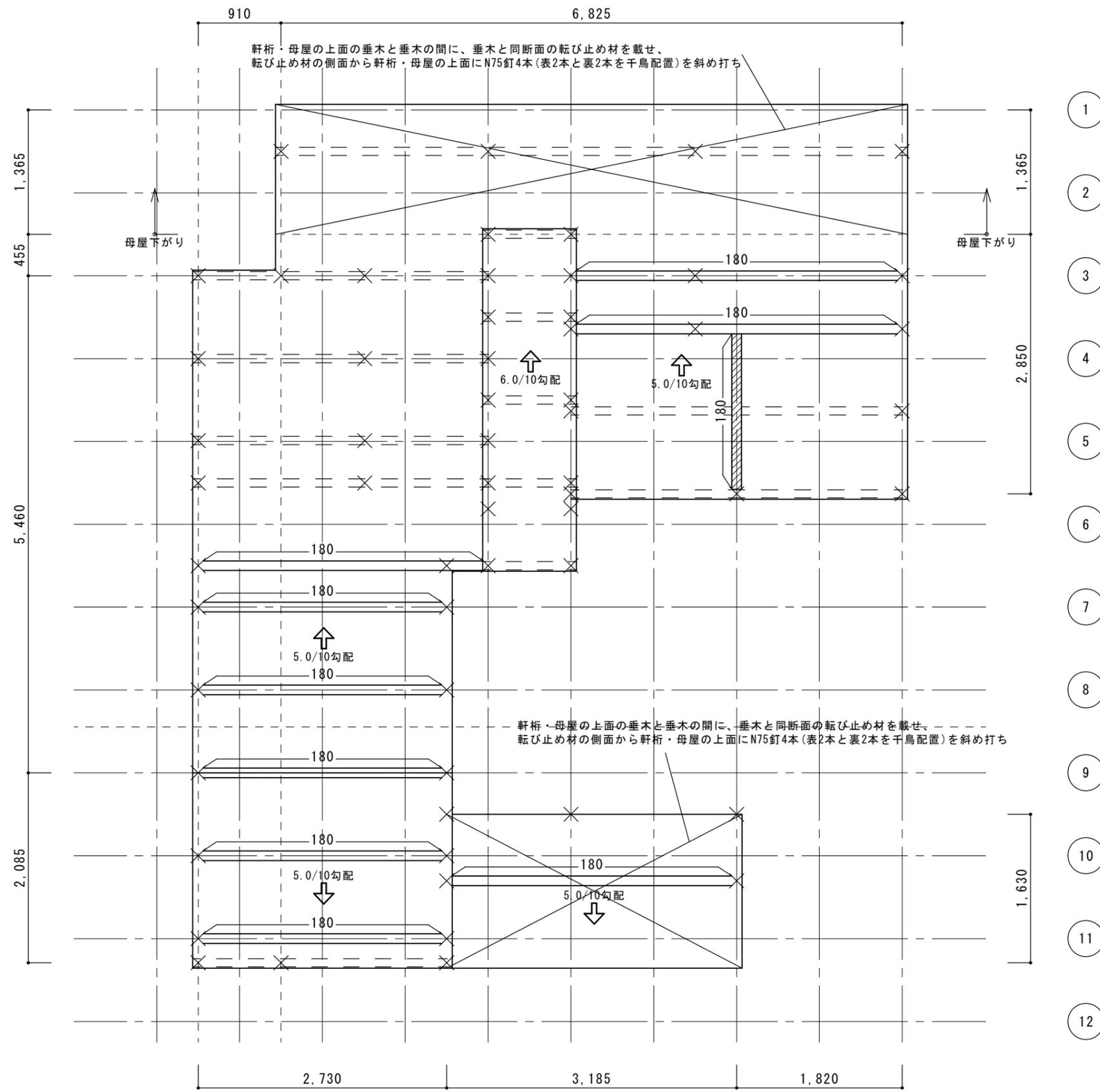
記号	部材	断面	樹種	備考
——	土台	105×105	桧	無等級材
- - -	大引	90×90	桐	無等級材
■	管柱	105×105	桧	無等級材
■●	通し柱	105×105	桧	無等級材
□	は束位置を示す。			
▽	は土台継ぎ手位置を示す。			

ぬ り ち と へ ほ に は ろ い



凡例 特記なき限り下記とする。

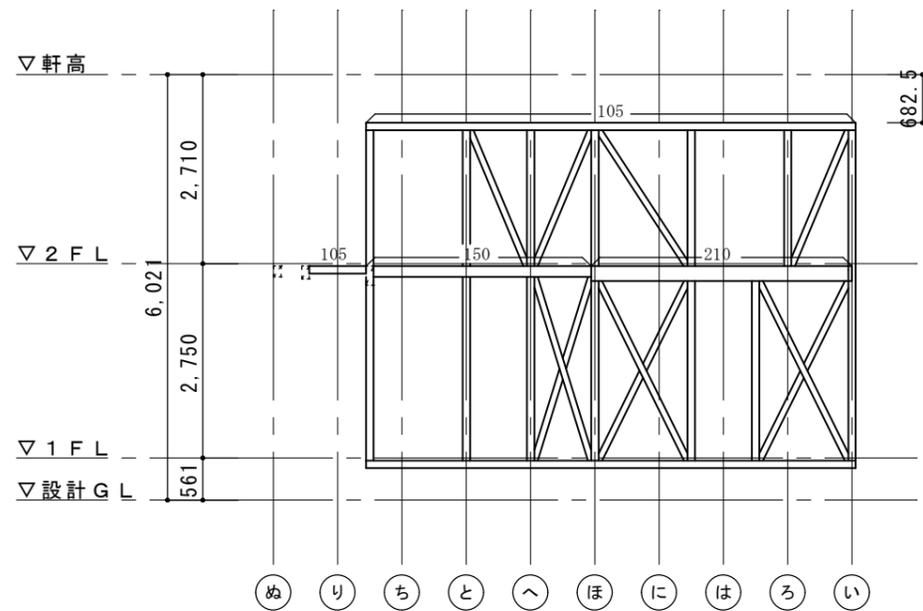
記号	部材	断面	樹種	備考
—	梁	105 × 105	桧	無等級材
		数字は梁成を示す。特記なき梁巾は105とする。		
○	束	90 × 90	桐	無等級材
	火打	90 × 90		
▨	床合板	構造用合板24mm、根太無し直張り川の字釘打ち N75@150以下		
X	は下階柱位置を示す。			



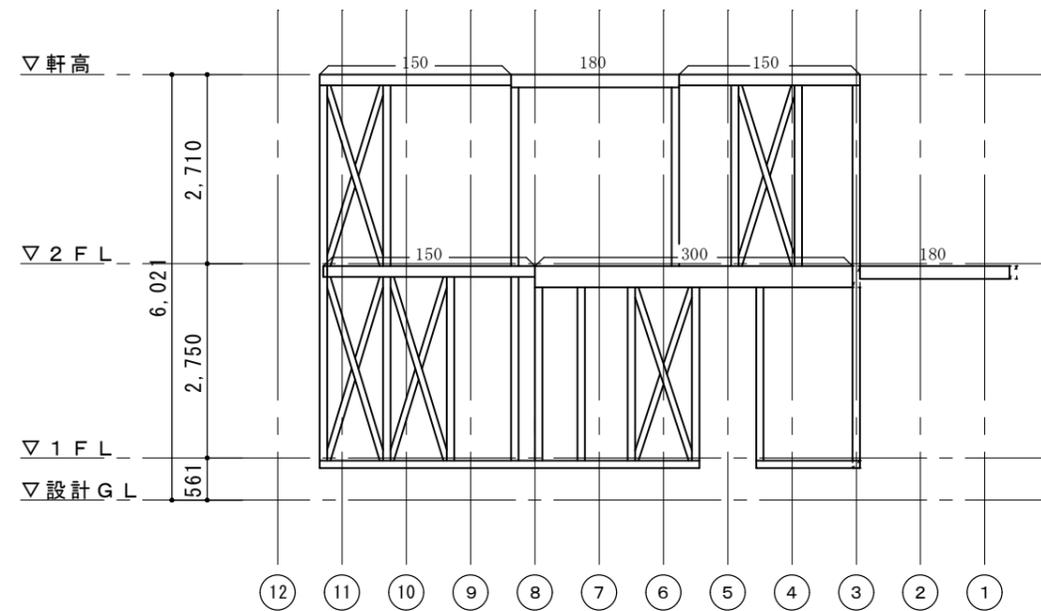
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12

凡例 特記なき限り下記とする。

記号	部材	断面	樹種	備考
====	梁	105巾	唐松	無等級材
==	母屋	90×90	桐	無等級材
	野地板	構造用合板12mm、垂木転ばし、N50@150以下		
X は束柱位置を示す。				



1 通り軸組図

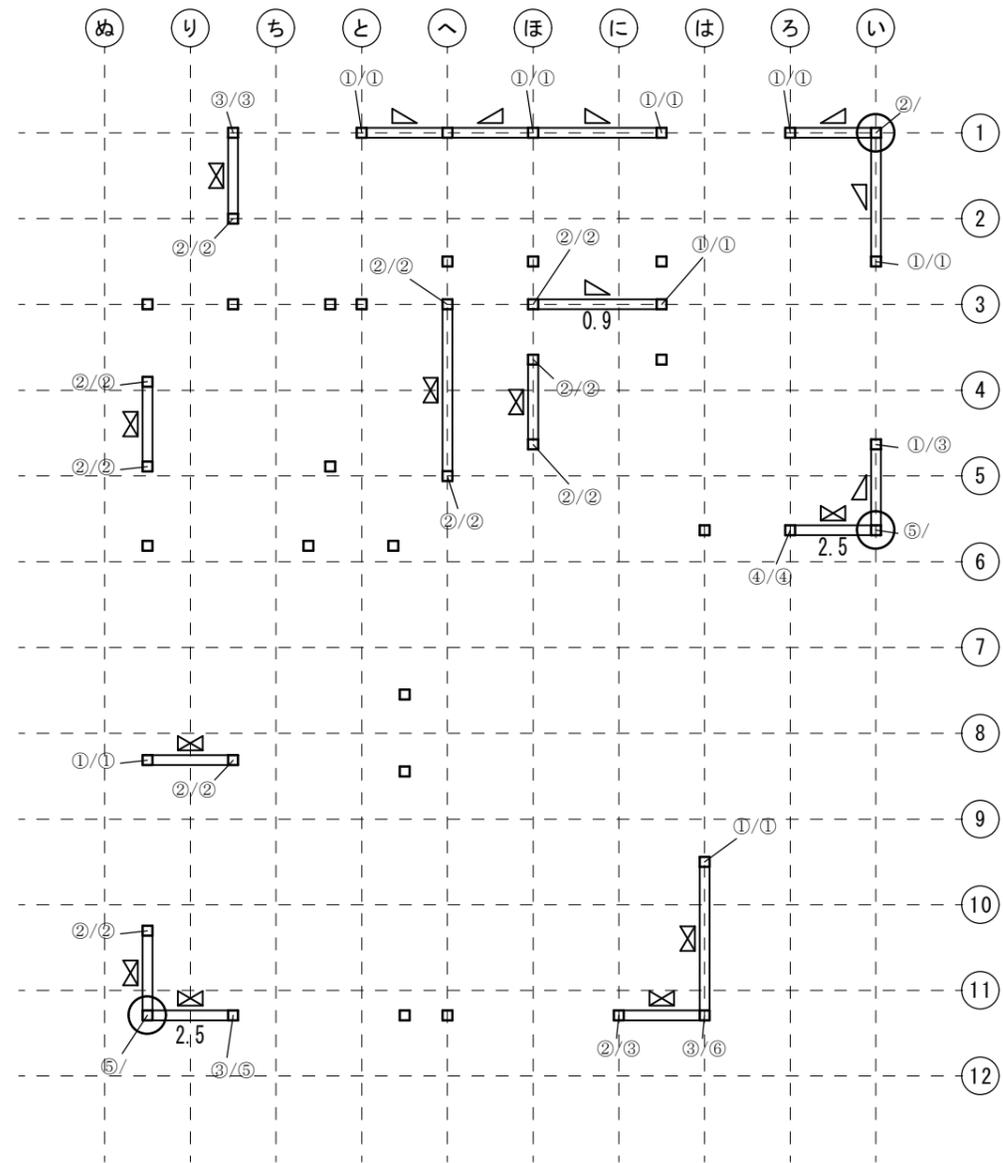
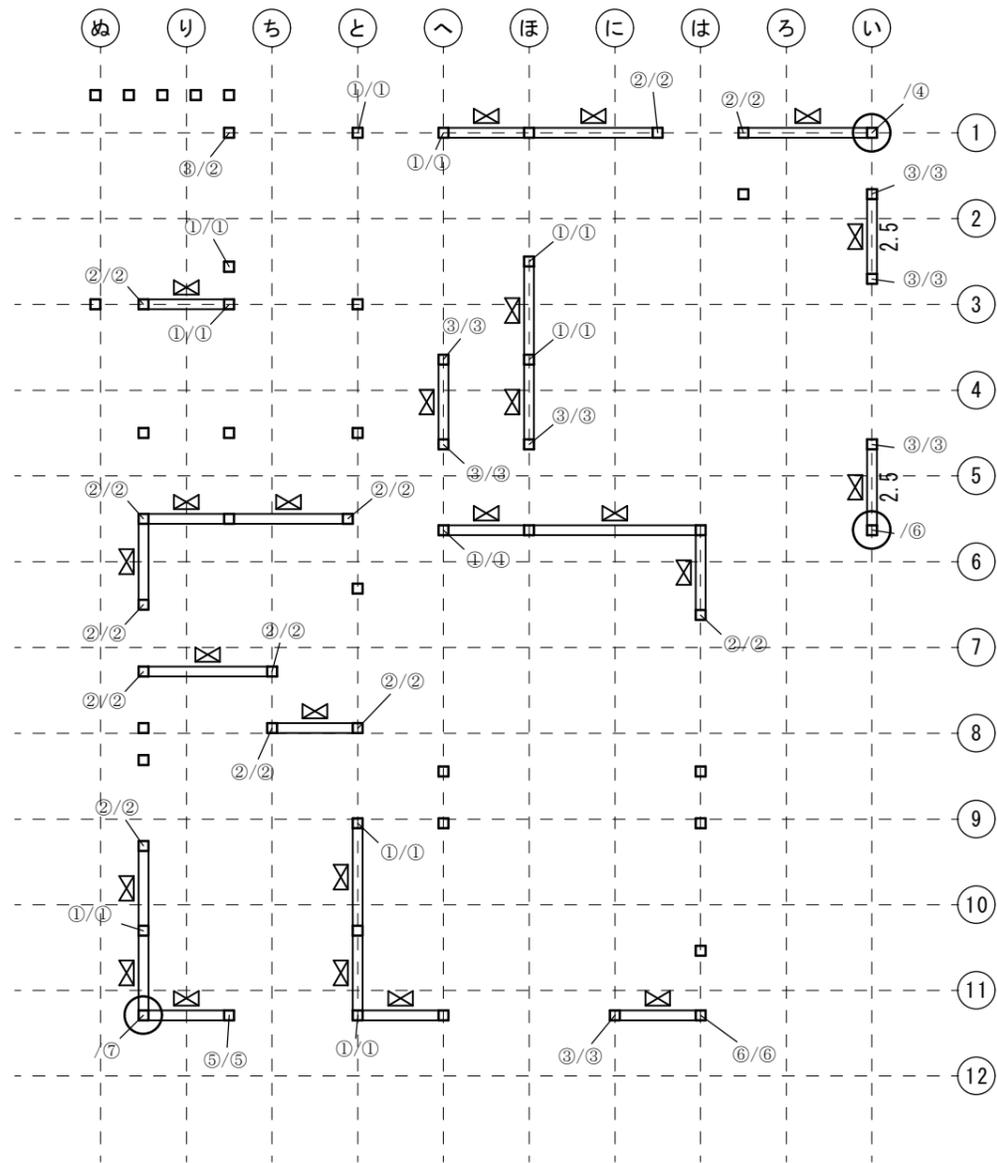


又り通り軸組図

凡例 特記なき限り下記とする。

部材	断面	樹種	備考
梁	105×105 特記無き梁幅105 数字は梁成を示す	唐松	無等級材
土台	105×105	桧	無等級材
大引	90×90	桐	無等級材
管柱	105×105	桧	無等級材
通柱	105×105	桧	無等級材

※筋違い：45×90
 ※柱ほぞ寸法：3cm×9cm



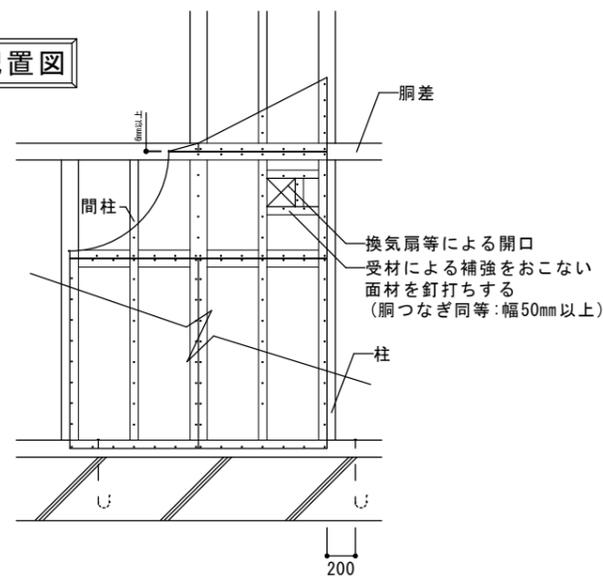
1階耐力壁・金物配置図

2階耐力壁・金物配置図

耐力壁

凡例		倍率
2.5	構造用合板 7 ⁹ mm 片面張り	2.5
0.9	せっこうボード 7 ¹² mm 片面張り	0.9
△	筋違い 45x90	2
⊗	筋違い 45x90 たすき掛け	4

筋違い向き凡例



金物

記号		短期許容耐力 (kN)	備考
①	リブコーナ 又は リブコーナ合板タイプ	5.6	欄柵シ
②	ハイバースリム 又は ハイバースリム合板タイプ	10.4	欄柵シ
③	ビス止めホルダウンU15	28.7	欄柵シ
④	ビス止めホルダウンU20		
⑤	ビス止めホルダウンU25		
⑥	ビス止めホルダウンU35		
⑦	ビス止めホルダウンU25×2	57.4	欄柵シ

柱頭金物/柱脚金物

- ・金物は同等の耐力以上のものに変更する場合は可とする。
- ・耐力壁が取りつく、柱接合部と横架材との接合部に

一般壁（耐力壁として図示されていない壁）は、耐力壁の仕様とならないように施工する。